

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
テーブルマナー Table Manners		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(観光ビジネス実務士必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
立川 聡子	本館2F	授業時間以外		授業中に指示します
授業の概要				
フォーマルな料理飲食サービスの基本である日本料理、西洋料理、中国料理のマナーを学ぶとともに食事のマナーを学ぶ前提として、食事のマナーの本質について考える。テーブルで食事を頂く場面、テーブルにつくまで、テーブルを離れ退室するまでを含めたマナーを身につける。冠婚葬祭における会食場面を設定し、日本料理では和室、西洋料理と中国料理では洋室での立居振舞を習得し、フォーマルな席での会食に相応しい振る舞いができるようになることを目指す。				
授業の目標				
①日本料理の会食マナー(席次、着席・退席、食器・箸・懐紙の扱い方、食事のいただき方)について説明することができ、他者に模範を示すことができるようにする。 ②西洋料理の会食マナー(席次、着席・退席、食器・カトラリー・ナフキンの扱い方、食事のいただき方)について説明することができ、他者に模範を示すことができるようにする。 ③中国料理の会食マナー(席次、着席・退席、食器・箸・カトラリーの扱い方、食事のいただき方)について説明することができ、他者に模範を示すことができるようにする。				
授業の方法				
講義、実技演習、発表。				
学習の成果(学習成果)				
日本料理、西洋料理、中国料理それぞれの食文化に敬意をもち、フォーマルな席での会食のマナーを心得て臨むことができ、会食を共にした方々と食事を楽しむことができる。クラス内では、模範を示すことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の概要、成績評価等についてシラバスをもとに説明)、テーブルマナーの基礎知識			
第2回目	日本料理と作法1 和室の作法① 玄関の出入り、部屋の出入り、上座・下座、席次			
第3回目	日本料理と作法2 和室の作法② 正座と立振舞、座布団の扱い方、襖の開け閉め			
第4回目	日本料理と作法3 和室の作法③ 場面設定による立居振舞、懐紙と折形			
第5回目	日本料理と作法4 和室の作法③ 場面設定による立居振舞、箸使い、器の扱い			
第6回目	日本料理と作法5 実技① / まとめと解説			

第7回目	日本料理と作法6 総合 日本料理の種類(本膳、懐石、会席、精進)と作法 レポート① 日本料理の種類と作法・確認問題作成 提出次回前日まで	
第8回目	日本料理と作法7 レポート②日本料理の種類と作法 発表と確認問題の実施	
第9回目	西洋料理のマナー1 洋室のマナー① 部屋の出入り、上座・下座、席次、歩き方、椅子の掛け方、クロークの利用	
第10回目	西洋料理のマナー2 洋室のマナー② カトラリーの種類と配置 ナフキンの折り方	
第11回目	西洋料理のマナー3 洋室のマナー③ 場面設定による立居振舞、カトラリー/ナフキンの扱い方	
第12回目	西洋料理のマナー4 実技② / まとめと解説	
第13回目	西洋料理とマナー5 総合 西洋料理のメニューとマナー レポート② 西洋料理のマナー・確認問題作成 提出次回前日まで	
第14回目	西洋料理とマナー6 レポート②西洋料理のマナー 発表と確認問題の実施	
第15回目	中国料理のマナー 中国料理の種類(広東、上海、北京、四川)とマナー 総まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に集中している、課題の準備を十分に行い、発表の態度、内容が模範的であり、周囲の人間に配慮し、ワークに主体的に臨み、クラスやグループに貢献している。S評価の基準：上記を全て満たすもの。
レポート	30%	要件を充足している、自分の考えを述べている、論理的にまとめている、設問に的確に解答している S評価の基準：上記を全て満たすもの。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	10%	S評価;発表の備えて十分に準備している。自ら意欲的に発表に臨んでいる。話す言葉づかいが適切である。話す速度が適切である。声の大きさが適切である。言葉が明瞭でわかりやすい。話が論理的に展開されている。
その他	40%	実技(洋室、和室) 場面・席次・部屋の構成に応じた立居振舞ができる。歩き方、立ち方、座り方、お辞儀などの模範を示すことができる。示されたように所作ができる。S評価の基準：上記を全て満たすもの。
教科書と参考図書		
適宜、プリント配布。		
履修上の留意点・ルール		
欠席、遅刻は減点(欠席4点、遅刻3点)。 筆記用具の不携帯等々、受講態度について度々指導を要する場合には減点。		